

## 「連携・協働・創造」

令和3年度の三河小中学校長会長を拝命しました岡崎市立甲山中学校の柵木智幸です。もとより微力ではありますが、誠意と情熱をもって務めますのでよろしくお願い致します。

本来ならば、5月11日の総会において、三河の全校長が一堂に会し、現在の教育課題を共有し、夢のある学校経営を確認しあうべきところ、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、昨年度に引き続き紙面開催となったことを大変残念に思っています。

さて、本会の目的は、「三河小中学校相互の連携を密にし、教育の振興発展を図り、教育文化の向上に寄与すること」です。この実現に向け、これまで尾張地区や名古屋市の校長会と協力して、児童生徒一人一人を大切にす三河教育の質の向上を図り、保護者や地域社会の期待に応える教育活動を展開してきました。諸先輩方の情熱と英知によって構築・継承された教育は、着実にその成果を上げてきています。

一方、昨年度は、コロナ禍という未曾有の事態に直面し、年度当初から休校を余儀なくされました。学校再開後には、新しい生活様式の中で、私たち校長は、いかによりよい教育活動を展開すべきか、地元教育委員会の指導・助言のもと、他校と情報交換をしながら熟慮し、自らの責任で決断してきたところです。

今年度、引き続き感染症拡大防止に努めつつ、新学習指導要領やGIGAスクール構想に沿った「児童生徒の学び方改革」、給特法改正による「教員の働き方改革」を推進する必要があります。昨年度のコロナ禍というピンチに対応した経験は、これらの改革を進めるチャンスとなり得ます。

本会としても、学校力向上特別委員会で「教員の働き方改革」の調査・研究をし、併せて、校長自身の働き方改革の一助となるよう新設するホームページの有効活用、オンライン会議の試行をしていきます。

また、これまでの課題である「児童生徒の生きる力の育成」、「いじめ・不登校への対応」、「若手教員や中堅教員の育成」、「不祥事の根絶」等についても、様々な手立てを改善し、講じていかなければなりません。

そこで、今年度のスローガンを「連携・協働・創造」としました。「ワンチーム三河」の言葉通り、三河教育研究会とも相携えながら、16の郡市と487名の会員が連携・協働することで、教育を取り巻く諸課題の解決を図り、各学校が新しい文化を創造できるようにしていきたいと思えます。持続可能な社会と幸福な人生の創り手となる児童生徒の育成に向け、総力を結集していきましょう。御理解と御協力をよろしくお願い致します。

# 令和3年度 三河小中学校長会 役員・理事一覧

## 会長・副会長・顧問・会計監査



## 庶務・会計



## 県校長会（三河部）



## 理事



三河小中学校長会のホームページが完成しました。学校経営にかかる情報提供・交換等の場としていきます。ぜひ、アクセス(<https://www.mikawa-kochokai.jp>)し、御活用ください。